

令和2年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	放射性物質被害林産物処理支援事業			担当部局	復興庁		作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 増田 直樹		
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、放射性物質が大気中に飛散し、樹皮(パーク)、ほだ木等の林産物から放射性物質が確認されている。これらの大部分は、放射性物質を含んだ焼却灰の処理等の問題により、福島県及びその近隣県で滞留しており、事業活動に影響が生じているため、当該事業により対策を講じることで、事業活動を安定化させ、林産物の流通を推進させる。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	地域林産物の流通安定化を図るため、製材工場等に滞留する樹皮(パーク)、ほだ木等の放射性物質被害林産物の処理対策として、廃棄物処理施設での焼却及び運搬費用、一時保管費用等、製材工場等が負担する経費を一時的に立替支援(定額)する。 なお、当該事業は東京電力から損害賠償が認められた経費を対象としており、東京電力から賠償金の支払いがあった後に国庫に返納することとする。								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	386	386	343	317	317		
	執行額	287	309	337					
	執行率(%)	74%	80%	98%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	74%	80%	98%						
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	林産物供給等振興地方公共団体事業費補助金	317	317						
	計	317	317						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 -年度	目標最終年度 2年度
	福島県内におけるパーク保管(滞留)量を、一ヶ月の発生量程度まで減少させ、パークの滞留を解消する。	パーク保管量の発生量に対する割合(100+(1-保管量/発生量)×100)	成果実績	保管量(t)	7,019	5,434	2,058	-	-
			目標値	発生量(t)	7,994	9,593	10,124	-	-
			達成度	%	112	143	180	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	業務資料(林野庁)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 -年度	目標最終年度 2年度
	事業実施県の製材工場における丸太取扱量を令和2年度に平成23年度の145%にする。	事業実施県の製材工場における丸太取扱量の増加率(平成23年度に比較した丸太取扱量の増加率/目標値)	成果実績	%	111	129	130	-	-
			目標値	%	145	145	145	-	145
			達成度	%	77	89	90	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	「木材統計調査」(農林水産省大臣官房統計部)								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	当該事業におけるパークの処理量	活動実績		t	10,063	12,033	15,240	-	-
当初見込み		t	18,500	13,080	12,820	14,210	14,210		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	執行額/当該事業によるパーク処理量	単位当たりコスト		千円	29	26	22	23	
		計算式	執行額/処理量	287百万円/10千t	309百万円/12千t	337百万円/15千t	317百万円/14千t		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	4. 森林の有する多面的機能の発揮と林業・木材産業の持続的かつ健全な展開							
	施策	19. 林産物の供給及び利用の確保							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		-	実績値		-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	本事業により、事業活動を安定化させ林産物の流通を推進することにより、「ふくしま森林再生事業」の本格化や避難指示解除区域での林業生産の再開等に対応した木材の受け入れ体制の整備や林業・木材産業の活性化につながり、林産物の供給及び利用の確保に資するものである。								
	取組事項	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績		-	-	-	-	-
目標値			-	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績		-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	製材工場等の事業活動の安定化については、事業実施県の要望も強く、優先度の高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	「福島復興再生基本方針」において、国は樹皮等の処分を推進することとしている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	林産物の供給及び利用の確保のため、バーク処理は必要かつ適切な事業である。また、「福島復興再生基本方針」において、国は樹皮等の処分を推進することとしている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業実施要綱・要領に基づき支出先を選定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業により支援した費用は、東京電力の求償対象経費であり、東京電力から賠償された後に国庫に返納される。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	単位当たりのコストは、適正に事業を執行する中、妥当な水準となっている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	事務費以外は全て産業廃棄物処理等への支出である。
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事務費以外は全て産業廃棄物処理等への支出である。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用率は小さい。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	繰り越しは行っていない。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	製材工場等と産業廃棄物処理業者との間で単価交渉をしている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	バーク保管量はバーク発生量を下回っており、滞留は解消されている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	東京電力に対する損害賠償請求は、各製材工場等が個別に実施することも可能であるが、処理コストや請求時期は各々であることから、効率的な事業実施には、県を経由した現事業の手段が最善である。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	令和元年度活動実績は見込みに対して、119%となった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、製材工場等で発生する樹皮(バーク)等のうち、放射性物質に汚染され、燃料等への利活用が困難となったものを処理する対策であり、補助対象経費は東京電力の損害賠償が認められたものに限定している。樹皮(バーク)等の滞留は、製材工場等の事業活動を停滞させ、木材製品等の安定的生産、供給に影響を及ぼすことから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も強く、優先度の高い事業である。	
	改善の方向性	引き続き、関係者と連携しながら、本事業により、復興支援及び林産物の流通の推進を図ることとしたい。	
外部有識者の所見			
引き続きのニーズを的確に把握し、効果的・効率的な執行に努めること。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	的確なニーズ把握に努め、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	的確なニーズの把握を踏まえ、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効率的・効果的な予算の執行に努めていく。		

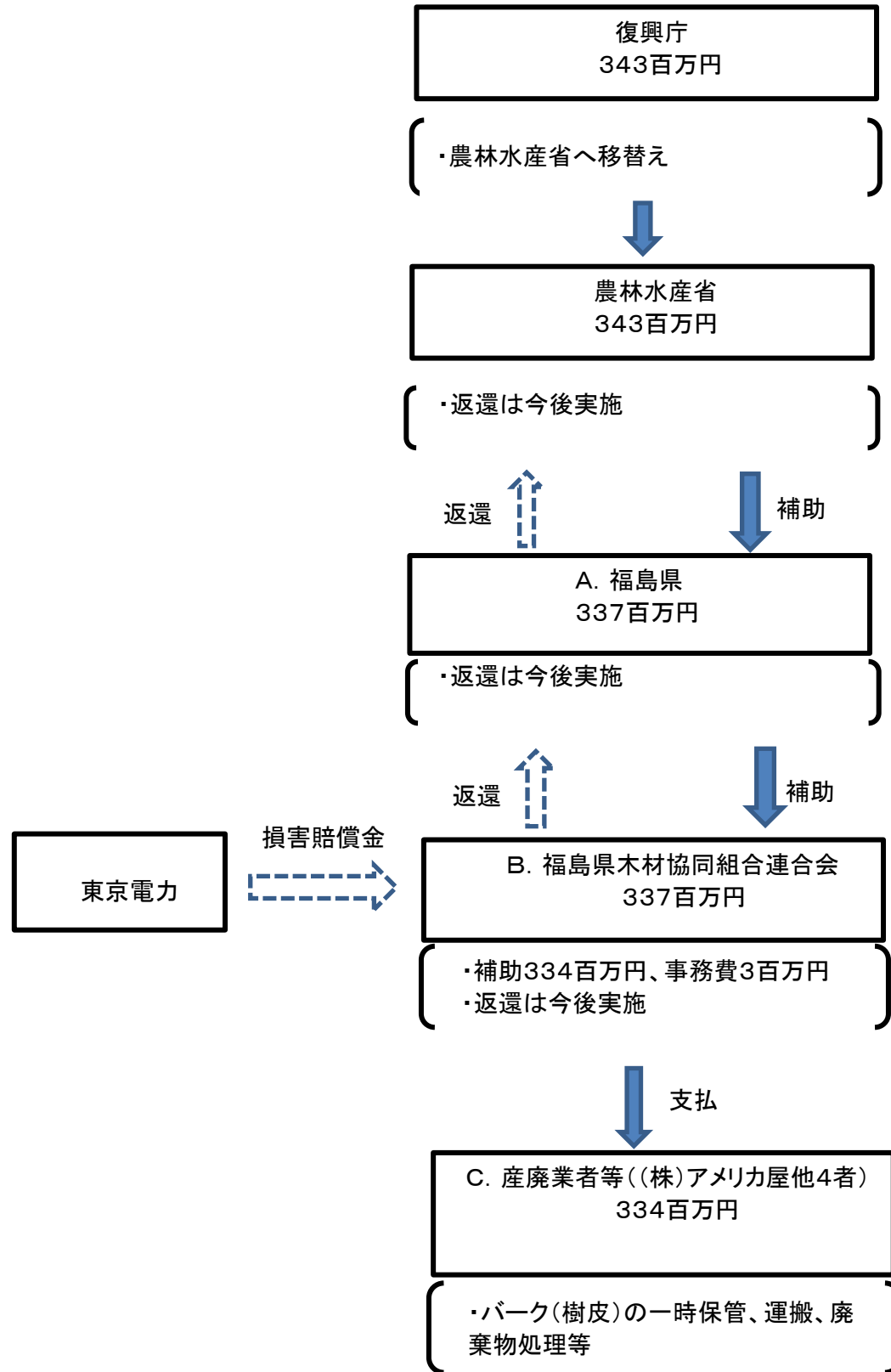
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	0014	平成25年度	新25-037
平成26年度	0163	平成27年度	0162	平成28年度	0141	平成29年度	0113
平成30年度	0105						
平成31年度	復興庁 (0108)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載)	A.福島県			B.福島県木材協同組合連合会		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	廃棄物処理費	福島県木材協同組合連合会へ廃棄物処理等費用として支出	334	廃棄物処理費	(株)アメリカ屋他4者へ廃棄物処理等費用として支出	334
	事務費	福島県木材協同組合連合会へ廃棄物処理等に係る事務費として支出	3	事務費	廃棄物処理等に係る事務費	3
	計		337	計		337
	C.(株)アメリカ屋			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
廃棄物処理費	廃棄物処理等費用	161				
計		161	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県	7000020070009	福島県木材協同組合連合会へ廃棄物処理等費用として支出	337	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県木材協同組合連合会	9380005000445	(株)アメリカ屋他4者へ廃棄物処理等費用として支出	337	随意契約(その他)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)アメリカ屋	2380001007104	廃棄物処理	161	随意契約(その他)	-	-	
2	遠野興産(株)	8380001013393	廃棄物処理	125	随意契約(その他)	-	-	
3	日曹金属化学(株)	9010501017459	廃棄物処理	33	随意契約(その他)	-	-	
4	関東リソース(株)	2030001031675	廃棄物処理	14	随意契約(その他)	-	-	
5	(株)ユミタ運輸	3380002035697	廃棄物運搬	1	随意契約(その他)	-	-	